

平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・准教授
氏名 Name	菊池 正和
専門分野 Academic Field	イタリア近現代演劇

平成 29 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	1920-30 年代の未来派演劇の劇作法について				
<p>研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>1920 年代、30 年代の未来派演劇とその周辺の劇作法を研究対象とし、劇作家や演劇の理論家がどのような手法で上演実践の改革を目指していたのかを考察する。具体的には以下の 3 点を明らかにする。</p> <p>(1) シンテジと呼ばれる劇的断片において用いられた、複数の場面の同時提示や浸透、「物体のドラマ」等の劇作法は、舞台の空間構成にどのような変化をもたらしたのか。</p> <p>(2) 色彩や光の利用が、舞台上における戯曲の複製にいかに関与したのか。</p> <p>(3) 「映像演劇」や「触覚演劇」、「ラジオ演劇」の劇作法は、観客の五感にいかなる刺激を与えたのか。</p> <p>研究方法としては、当時の雑誌や劇評などの一次資料やこれまでの先行研究を文献学的に精査するとともに、現地の研究者との議論を通して再検討を行う。未来派演劇が提出した多様な舞台改革案を再整理し、後の演出法へと定着していく過程を解明するためである。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ヨーロッパ 文学 (イタリア)	芸術一般 (演劇)	地域研究 (シチリア)	外国語教育 (イタリア語)	
キーワード Keywords*2	イタリア演劇	未来派	劇作法	演出	舞台空間